

町政を問う！

一般質問

12月定例会では8人の議員が一般質問にたち、23項目にわたって理事者の方針をただしました。なお、この記事は質問・答弁を要約したものです。

第二次緊急3か年計画

原 紀夫議員

現行の行政運営継続では財政破綻するとして、多岐にわたる見直しを行い、町民説明会を開催したが、相変わらず低調な出席となり町民意識は希薄である。管内最悪の財政状況を町民とともに共有した中での改革は欠くことができない。

さわやかプラザの一般利用廃止やシルバー人材センター補助金削減は、予防医療を強化する町の方針に相いれないものである。指定管理者制度を公園や施設管理、畜産セン

ター等に積極的に導入すべきではないか。

高薄町長

税源移譲あるいは補助金の削減、地方交付税が大幅に減額している状況の変化については、住民の皆さんと議論し、共有していかねければならない。

さわやかプラザは、平成21年3月まで現在の状況下で運営をしていき、予防に対する総合的なプランをつくりあげていく。シルバー人材センターは、補助金は削減させてもらい施設を提供する。

指定管理者制度については、人件費を含めながら職員の退職等によって考え、協議をしていかねばならない。

入札制度の改善を

原 紀夫議員

適正な競争が行われていないのではないかとこの町民指摘が以前からある。予定価格や落札率公表後の数年間の落札率を見ても、競争が適正に働いているとは言い難い。地元業者の育成など理解できる面もあるが、本町財政危機の現状に鑑み、入札方法の改善を図り、一層の透明性を確保し町民理解が得られるよう努めるべきではないか。高落札率は業者の積算技術や見積能力の向上による面も否定しないが、大半が高率で99%を超える落札率

は理解できない。

高薄町長

平成13年度から予定価格の事前公表を実施し、落札率は96%で高落札率と言われてもやむを得ない。来年度から入札時に積算内訳書の提出を義務付けることにより、入札制度の透明性や公正性の維持に努めていきたい。

全国一斉学力テスト

原 紀夫議員

文部科学省は本年4月、小学6年及び中学3年を対象とした全国一斉学力テストを実施し、10月下旬に結果が公表されたが、北海道は最下位部にラン

ク付けされた。公表結果を受けて本町は今後どのように公表結果を生かそうとされているのか。テスト結果は児童生徒には個人別に知らされていると思うが、本町児童生徒の学力状況や学習状況などの大まかな傾向については公表すべきと思うがいかがか。

家庭等に公表しているもので、これで十分と考えている。

さわやかプラザに代わる健康づくりメニューを

橋本晃明議員

さわやかプラザを廃止しても健康づくりを後退させないといえる施策を展開すべきではないか。さわやかプラザの機能をもっと低コストで実現できないか。

いきがいづくり、健康づくりにつながる町民の自主的で多様な文化・スポーツ活動を、指導者育成を含めて支援していくことが重要ではないか。

横山教育長

結果が10月下旬に届き、各学校で、教科に関する調査は、成果と課題を踏まえて指導の具体的な方策を、学習状況調査は、特徴的な傾向を踏まえた指導の方向性をまとめた。各学校において、きめ細かく結果の分析と考察を行い、成果と課題、更には指導の具体的な方策を各